

研究機関名：旭川医科大学

作成年月日：2025 年 10 月 23 日（第 1 版）

承認番号	25127
課題名	旭川医科大学病院における経カテーテル大動脈弁置換術後、術後せん妄の発生状況と発生因子についての検討
研究期間	実施許可日～2026 年 12 月 31 日
研究の対象	2022 年 1 月から 2025 年 10 月までに経カテーテル大動脈弁置換術（TAVI）を受けた患者さんが対象です。
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：年齢、性別、既往歴、術式、脳梗塞合併症、転帰、身長、体重、血液検査データ、ICU 入室の有無、ICU（集中治療室）入室期間、HCU（高度治療室）入室期間 重症度スコアや状態判断のための記録 せん妄の有無 等） <input type="checkbox"/> その他（ ）
利用予定日	実施許可日から 1 ヶ月後
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	本研究は経カテーテル大動脈弁置換術を受けた患者さんが、術後にせん妄という混乱状態になる場合にどのような因子が関わっているのかを調べる調査です。経カテーテル大動脈弁置換術は、一般的に高齢であり、胸を開けて手術することが困難な方が手術適応となっています。高齢であることはせん妄という状態になりやすく、経カテーテル大動脈弁置換術を受けた患者さんのせん妄発生率やその他になりやすい因子がないかを調査し、手術前からせん妄を予測することで早期に対応することが可能になると考えています。
研究の方法	対象となる患者さんの医師の診療録や看護記録などから研究に必要なデータ【年齢、性別、既往歴、術式、脳梗塞合併症、転帰、身長、体重、血液検査データ、ICU 入室の有無、ICU（集中治療室）入室期間、HCU（高度治療室）入室期間、重症度スコアや状態判断のための記録 等】を収集し、手術を受けた患者さんとせん妄の発症にどのような関連性があるのか分析を行います。
その他	なし。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、

	<p>下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>所在地：旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号</p> <p>所属：看護部 9階西病棟</p> <p>氏名：春木 速偉人</p> <p>連絡先：0166-65-3690（直通）</p> <p>研究責任者：旭川医科大学病院 9階西病棟 春木 速偉人</p>
--	--